

支えあう 住みよい社会 地域から

(民生委員制度創設100周年記念において決定したスローガンです。)

7月9日、天皇皇后両陛下の御臨席のもと東京ビックサイトに全国民生委員児童委員の代表約1万人が集い民生委員制度創設100周年の記念大会が開催されました。大正天皇の御下問により、人々の防貧をめざし、大正6年岡山県で創設された済世顧問制度が起源です。

雪谷地区からは、門倉友子会長他4名が出席、大会2日目には、都内各会場に移っての、小規模発表会が行われました。まだ駆け出しの私も東京の応援委員として国際フォーラムでの案内係を担当しましたが、連日の猛暑にもかかわらず、全国各地から集まられた諸先輩の心意気を真近に感じながら、共に時代の節目に立ち合えた実感は得がたいものでした。

東日本大震災以降も、様々に変化する日本列島です。その地域社会の中で、全国23万人の民生委員児童委員の一人一人の地道な日々の活動が、多様化する今日の日本社会を支える目に見えぬ底力の一つなのだと思います。新たにした一日でした。

百年の時を超えて先人たちが培ってきた信頼の絆を運ぶランナーの一人として、改めて自覚を深めているところです。

(池の台・柏三八子)

中学校は創立70周年

中国の詩人杜甫の「人生七十古来稀なり」の詩句から、70歳を「古稀」というようになった。平均寿命が80歳超の現在には少々ずれを感じるが、それでも人生の大きな節目として捉えられていることに変わりはない。

戦後まもない昭和22年の学制改革で発足した新しい中学校が、今年は誕生してちょうど70年である。雪谷出張所管内の大森六中、雪谷中、大森十中も創立70年となる。

当時はどの学校もゼロからの出発で、昭和23年に私が入学した熊本の学校も、古い高等科の校舎や小学校の教室・運動場を借りての授業だった。男女共学もぎこちなく、教室では男女が左右に2分されていた。ある時、集めたお金を担任の先生に届けた際に、女子の分も早く持ってくるよう伝えてくれと言われ、その場ではハイと返事をしたものの、戻った教室では係りの女子生徒に伝えることができなかつたことがあった。3年間女子とは話すことなく、私は中学校を卒業した。

様々なことが初めてで急ごしらえの中でのスタートだったが、新しい教育に情熱を燃やす先生方や関係者、それを支える地域や周りの人々の協力があって、現在があることを改めて思うのである。70年の重さを感じている。

(上池上・田上潤一)

トン汁と学校防災活動拠点訓練

私たちの南雪谷自治会でも、年に1度、雪谷中学校の皆さんと学校防災活動拠点訓練を行います。訓練は7月の土曜日の午後に行われる所以、その日は給食がありません。生徒さんに昼食抜きで訓練に参加してもらうわけにも行かず、私たち婦人部は、学校備蓄のアルファ化米を非常食として体験してもらうとともに、汁物として、具だくさんのトン汁を添える事にしました。

大勢の生徒さんが参加してくれるので、つくる量も半端ではありません。下ごしらえは前日にします。当日は、準備した具材を、大きな寸胴鍋などの器具と一緒に朝9時に学校に持ち込み、調理を始めます。7月なので暑く、煮立つまでの間のガスの炎の熱さも加わって、汗だくになりながらのトン汁作りです。

正午になると、いよいよ体育館で昼食が始まります。生徒さんは「美味しい」といって何杯もおかわりをします。食べ終えると

「御馳走様、有難うございました」と感謝の言葉をくれます。お腹一杯になってくれたかなと思いつつ、私たちも午後からの訓練に参加します。

私たちのメンバーは変わりませんが、生徒さんたちは毎年入れ替わります。トン汁の味とともに、学校防災活動拠点訓練で得た経験を思い出してくれたら幸いです。

(南雪谷・木村ふみ子)



編 集 後 記

酉年には、歴史に残る事件・事故が起こると年初めに言われた方がいましたが、10月まででも重大ニュースをこの紙面に書ききれない状況です。

国内外のニュースは別にして今年も「ふれあい雪谷」は皆さまの身近にある記事を取り上げてまいりました。

母校、小池小は創立85周年・大森六中は創立70周年を迎えます。田上潤一さん（上池上自治会）も熊本の中学校に昭和23年に新制中学2期生として入学され、その後大森六中・雪谷中学で教鞭をとられました。

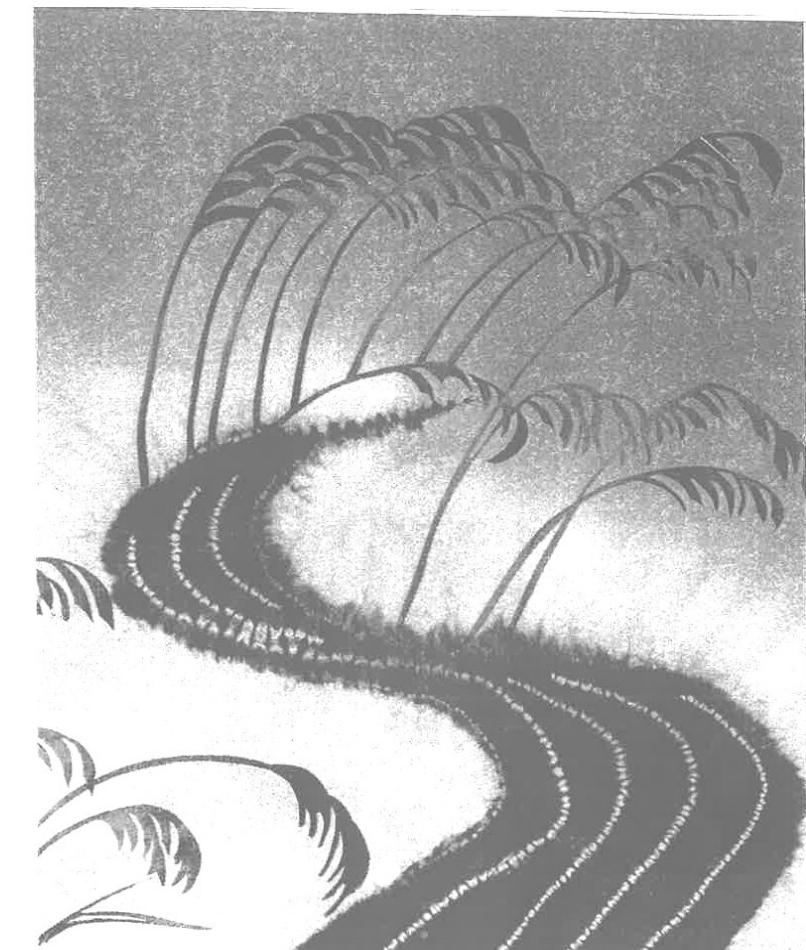
卒業生の中には「中学校は創立70周年」の記事の重みと田上先生を懐かしむ方々がこの雪谷地区には多くおられると思います。

(小池・原 龍興)

ふれあい雪谷(創刊・平成2年(1990)12月20日) 年4回発行
(1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号／の1日発行)
[発行日] 平成29年(2017) もみじ号 10月1日(通巻・第108号) 発行
[発 行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編 集]「ふれあい雪谷」編集委員会
[連絡先] 雪谷特別出張所
〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

ふれあい
雪谷

平成29年 10月 もみじ号 通巻第108号



笹丸・松原節子さんの作品

さらなる住環境の改善を

私たちの日々の生活は、多くの方々の目に見えぬご支援、見守りにより、安全で安心な環境が保たれています。

さて、雪谷地区の9自治会も、独自に役員、会員の皆様が、自分たちのまちの安全で住みよい住環境の醸成に努力しています。例えば、**民生委員児童委員、保護司、青少年対策委員、地域力推進雪谷地区委員、ふれあい雪谷編集委員、消防団員**等々、自治会の枠を出て広く地域に貢献され、幅広く多くの分野でご奉仕いただいております。

一つのイベントの企画に際し、その都度多くの皆様の事前の打ち合わせ等準備を経ての開催となります。

多くの住民の皆さんのが参加し、役にたち、楽しく喜んでいただけることで、地域内のつながりが深まり、お顔とお名前が判らなくとも、このまちの方だと、なにげないご挨拶をかわせる関係が出来れば、イベントは大成功です。

9自治会では、ご一緒に活動ご協力可能な方のお力添えを望んでおります。身近かな役員にお声掛け下さい。

横のつながりは、地域の住環境を高めます。ご一緒に活動しませんか。



平成29年度雪谷地区自治会役員永年在職者感謝状贈呈式において
左から2番目が田中会長 (平成29年6月1日雪谷特別出張所)

(雪谷地区自治会連合会会長 東中・田中英雄)

スポーツ健康都市宣言記念事業第34回大田区区民スポーツまつり
雪谷地区9自治会スポーツまつりが開催されます！！

日時 平成29年10月1日（日）
場所 池雪小学校 校庭（雨天時は体育館）
時間 午前9時30分
当日の参加も可能ですので、奮ってご参加ください。

雪谷地区大田区総合防災訓練開催のお知らせ
日 時 10月15日（日）9:30～12:00
場 所 東調布公園 ※雨天時は雪谷中学校で、
規模を縮小して行います

私の思い出 1964年東京オリンピック

私は1958年（昭和33年＝東京タワー・12月完成）春、九州・大分の片田舎から親戚を頼りに上京。60年に渋谷・神南にあったデザイン研究所に入学。研究所の前は広々とした芝生の米軍の宿舎が点在していました。ワシントンハイツです。時々アメリカの子どもが研究所の近くまで出てきて、片言の話をしたものです。このワシントンハイツの跡地に国立代々木競技場が出来たのです。

研究所時代、昼食は時に街に出て、道玄坂にあったバラック小屋が軒を連ねた恋文横丁の中華料理を食べたりしました。

1963年渋谷猿楽町にあった社長以下60名の小さな美容業界紙の出版社（1919年創業）に友達の紹介で入社。

この時期、第18回オリンピック東京大会開催ということで東京大阪間・新幹線開通や東京中が高速道路建設。丹下健三氏設計の競技場建設などで沸き立っていました。またグラフィックデザイナーの亀倉雄策氏によるあのシンプルなオリンピックのエンブレムと100メートル競走のスタート瞬間のポスターは印象的でした。

いよいよ1964年10月10日国立競技場で開幕。各国選手の退場の際に航空自衛隊ブルーインパルスによる大空の五輪マークの飛行を会社の屋上から見ていました。競技が進むにつれ盛り上がりしました。（テレビ観戦は白黒）一番の思い出はやはり女子バレーです。あの優勝の瞬間は社内業務の者はテレビに向き付けで応援しました。今から50年以上前の私の思い出です。

最後に2020年東京オリンピックで競技場案の中でザハ・ハディット氏の宇宙船を思わせる建築物も見てみたかったですね。

(東雪・N. Y.)

神輿を観ながら、出店を観ながら缶ビール、缶酎ハイを飲むのもいいですね。

日本は夏祭り・秋祭りと各地で色々とお祭りがありますが、中でも「日本三大祭り」の京都「祇園祭」・大阪「天神祭」・東京「神田祭」は歴史もあり見えがあり楽しいです。

東京もたくさんさんの祭りがありますが、先ほどの東京三大祭りの他にも楽しい祭りがたくさんあります。南千住の「天王祭」は神輿の担ぎ棒がタテ二本だけで担ぎながら神輿を思いっきり揺さぶるという壮大な神輿が有名です。また深川祭は五十基あまりの神輿に沿道の観客が水をかける珍しいお祭りです。約二十五基もの山車が街中を練り歩く川越の川越祭り、新宿の花園神社例大祭、湯島天満宮例大祭等好きな祭りがたくさんあります。

今年の夏も、各地のお祭りめぐりの他地元「雪ヶ谷八幡例大祭」をはじめ「浅草サンバカーニバル」「高円寺の阿波踊り」「原宿のスープーよさこい」「三軒茶屋大道芸」「米軍横田基地友好祭」等々楽しみました。

毎年、祭囃子や木遣りの声が聞こえてくるとわくわくします。

詐欺メール



ガラケーに3,4年前から怪しげなメールが、多い日は50通、少ない日でも10通ほどかかる。開くとローマ字の発信人が何人も出てくる。最初から中身は見ないで削除していた。携帯メール仲間は限られた数人（もちろん受信時は名前が出る）だし、知らない人からのメールは即削除するので実害はない。ある時、これらの怪しげメールを分析しようと考え、文面をながめた。①お色気もの ②もうけ話 ③官憲をちらつかせる ④メル友になって ⑤（何度も送って反応がない場合）怒って脅迫に近い文面 ⑥マル秘データを誤送したので絶対見るな、と逆に興味をもたせるケース ⑦同窓会の案内など、いかにも悪知恵を絞っていて、思わずクリックしそうな内容であることが分かった。また、数カ月たつと微妙に内容やら発信人が変ってくる。つまり、私のアドレスを誰か、その種の人間がキャッチして、同様、数千人か数万人のアドレスが闇の世界で知られていて、例えばAグループがそれら数千人に同時に詐欺メールを送り、私のように全く反応のないアドレスは纏めてBグループに転売、という世界だろう。携帯会社はこれらの怪しげメールに対して何の対策もしない（法的に無理？）ので、自分で注意するしかないだろう。

(笹丸・岡本動夫)

実家の世田谷から石川町に移転して早や四年。ここに来る前は、宮城県に八年、兵庫県に十八年、二コージーランドに三年。ユートモドもいとこでした。

私の趣味はどこの街でも行われてゐるお祭り見物です。宮城県の代表的な祭りは「存じ」「仙台七夕」。兵庫県にも各地で面白い祭りがたくさんあります。外国の二コージーランドでもワイン用のぶどうの収穫祭、先住民族マオリのお祭り等々あり毎年それらの祭りが楽しみでした。地元の雪ヶ谷八幡神社や千束八幡例大祭、自由が丘熊野神社の秋祭りも毎年のお楽しみです。

東京の三大祭りと言わわれている「浅草三社祭」「神田明神神田祭」「門前仲町深川八幡例大祭」（赤坂日枝神社山王祭をいれる場合もあるようです）は毎年楽しんでいます。今年も三社祭、神田祭、深川祭は充分堪能しました。

若いころは各地のお祭りの神輿を担ぐのも趣味でしたが最近は体力的に“シンドい”的もっぱら観るだけになりました。

祭のもの一つの楽しみと言えば、お酉です！



♪お祭り大好き！♪